

熊日大賞に中島さん (熊本市)



熊本日新聞社の美術公募展「くまもと『描く力』2019」で、グランプリ部門の最高賞・熊日大賞に熊本市の中島知宏さん(25)の油彩「草花」が選ばれた。【3面に詳報と中島さんの横顔、入賞者名簿】



「描く力」への応募はむ。

「自分の生存報告」だといふ。お世話になった先生や友人らに向けて「僕は元気で絵を描いています」と。これまでの3回は入選。4回目にしてビッグな報告となった。ただ「全然実感がなくて」と困ったようにほほ笑

3月に崇城大学院を

修了し、熊本市北区のオ

リジナルTシャツの制作

会社に就職。実家は同市

南区にあるが、職場に近

い玉名市の祖母の家を改

造して住居兼アトリエに

した。この環境の変化が

受賞作を生んだ。

「くまもと『描く力』2019」  
熊日大賞に選ばれた

なかしま ともひろ  
中島 知宏 さん

草や野の花がそばにある暮らし。「自然っていいな」という気持ちがある。身近にある雑草を画題に選んだ。余計なことは考えず、ペインティン

グナイフを使って色彩がそこにあるように描いた。細かく輪郭を捉えな

かったのは「人工物に見えてしまうから」。1カ

月ほどで描き上げた。油絵との出合いは、イ

ラストレーターを目指して進んだ御船高芸術コー

ス時代。油絵といえは「ゴ

ッホぐらいしか知らなかつた」が、絵の具がキャ

ンバスに重なっていく感じに魅了された。長い時

間をかけて仕上げている工程も肌に合った。

学生時代は人物や風景を細かく、はっきりと描

いた。色はモノトーンばかり。「このまま油絵を

描いていて暮らしていけるのか」と悩み、絵筆を

置いたこともあった。その苦悩を救ったのは

今回の「草花」だった。「油絵がめっちゃ好きな

のに、素直になれず迷走していた。素直に描けて

原点に戻れた」。25歳。

(飛松佐和子)

人  
ひと